Samsung・SK・LGがリードする韓国の電気国家戦略と自動車産業の変革

～半導体・バッテリー・AI・電力網が再編するK-Mobilityの産業構造～

■発刊：2026年11月末予定
■体裁：A4判、約160頁（簡易カラー印刷バインダー形式、Web印刷版等から選択可能）
■価格：~~297,000円~~（税込）→ 予約特別価格（発刊前申込に限る）270,000円（税込）国内送料込
■PDF＋報告会（開催1回、プレゼン資料付）：
~~627,000円~~（税込）→ 予約特別価格（発刊前申込に限る）600,000円（税込）国内送料込

世界の自動車産業では、電動化、SDV化、自動運転、AI活用が同時に進み、競争力の源泉がエンジンや機械部品から、半導体、バッテリー、ソフトウェア、データ、電力へと広がっています。自動車は単独で機能する工業製品ではなく、通信ネットワーク、クラウド、AIデータセンター、充電設備、電力網と常時接続される電気・デジタルシステムへ変化しつつあります。また、BEVに加え、HEV、PHEV、FCEVなどを地域や用途に応じて展開するマルチパスウェイが広がる中、車両の電動・電子化と、それを支えるエネルギー・情報基盤の重要性は一段と高まっています。

こうした産業変革を国家規模で進めている国の一つが韓国です。韓国政府は2026年6月29日、3大メガプロジェクトを発表。半導体・AIデータセンター、フィジカルAIを国家戦略産業として育成するという構想を示しました。こうした戦略の下で、Samsung、LG、SKの主要企業グループが、半導体、バッテリー、ディスプレイ、車載電子、通信、AI、エネルギーなどの産業基盤を形成し、Hyundai Motor Group（HMG）がそれらを車両、SDV、自動運転、ロボット、充電・エネルギーサービスへ統合する構図が鮮明になっています。さらに、AIの普及に伴うデータセンターの電力需要増加、再生可能エネルギーの導入、ESS、HVDC、スマートグリッド、V2G、超急速充電などが、自動車産業と電力産業の境界を急速に変えています。自動車の競争力は、車両性能や生産能力だけでなく、半導体の供給力、AI処理能力、バッテリー・パワーエレクトロニクス技術、安定した電力網を含めた総合力によって決まる時代へ移行しています。

FOURINでは、こうした韓国産業の変化を「電気国家戦略」という視点から捉え、マルチクライアント報告書『Samsung・LG・SKがリードする韓国の電気国家戦略と自動車産業の変革』を発刊する計画です。本調査報告書では、Hyundai、Kia、GM Korea、Renault Korea、KG Mobilityなどの完成車メーカーに加え、Samsung、LG、SK、Hyundai Mobis、Hanon Systems、LS ELECTRIC、HD Hyundai Electric、SK Signet、Naver、KTなどを取り上げ、各社の事業戦略、技術開発、投資、提携、製品展開、財務動向を調査・分析します。

調査分野は、完成車・自動車部品、半導体・AI半導体、バッテリー、パワーエレクトロニクス、熱マネジメント、急速充電器、送配電・パワーグリッド、AI・通信・クラウド、SDV・自動運転までを対象とします。また、韓国で活動する自動車部品、半導体、急速充電器、AI関連企業の合計約1,000社を取り上げ、企業規模、事業領域、上場区分、財務状況、技術分野、産業間の重複、新規参入の状況を整理します。主要企業だけでなく、中堅・中小部品メーカーの電動・電子分野への転換や、異業種企業による自動車産業への参入も分析し、韓国の産業構造がどのように再編されているのかを明らかにします。

本調査報告書を通じて、Samsung、LG、SKが電気・電子・AIの産業基盤を構築し、HMGをはじめとする完成車メーカーがそれらを次世代モビリティへ統合する韓国型産業モデルの全体像を提示します。技術開発、商品企画、事業戦略、競合分析、調達、新規参入、提携先選定、投資判断など、2030～2035年に向けた自動車・モビリティ事業の予測・判断材料としてご活用いただければ幸いです。

目　次（予定）

序　論　韓国はなぜ「電気国家」を目指すのか
・石油国家から電気国家への変革
・電動化、AI化、電力需要増加の同時進行
・輸出製造業から電気・デジタル産業国家への転換
・自動車を中心とした産業融合の全体像（AIDV＋α）

第1章　韓国自動車・部品産業の現在地
・完成車・部品産業の規模と企業分布
・742社の自動車部品メーカー分析
・部品上位100社の売上ランキング（2019～2025年）
・内燃機関部品から電動・電子部品への移行
・中堅・中小サプライヤーの転換状況
・Hyundai Motor Group依存と顧客多様化

第2章　Samsung・LG・SKの自動車産業戦略
・Samsung：半導体・ディスプレイ・電子部品
・LG：バッテリー・電動パワートレイン・車載電子
・SK：電池・半導体・通信・エネルギー
・3グループの競合領域と補完関係
・Hyundai Motor Groupとの連携・競争構造

第3章　半導体が変える自動車産業
・メモリーから車載SoC、AIアクセラレーターへ
・Samsung Electronics、SK Hynixの位置付け
・韓国ファブレス・OSAT・材料・装置企業
・SiC・GaNパワー半導体
・自動運転・SDV・ゾーンECUへの対応
・車載半導体の国産化と海外依存

第4章　バッテリー・パワーエレクトロニクス・熱マネジメント
・LG Energy Solution、SK On、Samsung SDI
・バッテリー材料・パック・BMS
・インバーター、OBC、DC-DCコンバーター
・SiC採用と800V化
・熱マネジメントの統合化
・ESSと車載バッテリーの技術共用

第5章　急速充電器とパワーグリッド
・韓国の急速充電器メーカー・CPO
・400～600kW級、MCS、液冷ケーブル
・V2G、V2H、スマート充電
・送配電網・変圧器・HVDC
・LS ELECTRIC、HD Hyundai Electric、Hyosung Heavy Industriesなどの役割
・AIデータセンターとEV充電がもたらす電力需要
・自動車メーカーと電力会社の接近

第6章　AI・SDV・フィジカルAI
・車載AIとクラウドAI
・自動運転、生成AIコックピット
・車両OS、データプラットフォーム
・AIファクトリーと部品生産
・ロボット、物流、スマート工場との融合
・Hyundai、Samsung、LG、SK、Naver、KTの役割

第7章　主要プレーヤー1,000社からみる産業再編
・自動車部品関連742社
・半導体関連120社
・急速充電器関連58社
・AI関連156社
・地域別・規模別・技術別分布
・自動車との関連度
・成長企業・赤字企業・転換途上企業
・業界間の重複企業と新規参入企業

第8章　韓国型モデルの強みとリスク、日本自動車産業への応用可能性
・電力需給問題（インフラ）、米中対立とポジショニング戦略、サプライチェーン、中小企業の産業転換への対応
・ソブリン（Sovereign）AIの課題

（編集の都合により掲載内容を変更する場合がございますので、予めご了承ください）

申込書

FOURINマルチクライアント調査報告書

Samsung・SK・LGがリードする韓国の電気国家戦略と自動車産業の変革

□バインダー綴じタイプ　：予約特別価格　税込270,000円（発刊前申込限定）
□Web印刷タイプ　：予約特別価格　税込270,000円（発刊前申込限定）
□バインダー綴じタイプ＋Web印刷タイプ　：予約特別価格　税込329,400円（発刊前申込限定）
□PDF＋報告会　：予約特別価格　税込600,000円（発刊前申込限定）

貴　社　名

貴 部 署 名

御　住　所　〒
（送付先）

ＴＥＬ番号

E-mail address

(フリガナ)
ご　氏　名　　御　役　職

通　信　欄

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込みは申込書に必要事項をご記載の上、FAXまたはメール添付してください。またE-mailでのご注文も承ります。

お申し込み、お問い合わせはこちらへ
株式会社フォーイン
〒464-0025名古屋市千種区桜が丘292
TEL：052-789-1101　FAX：052-789-1147
フリーダイヤル　FAX：0120-0000-73
https://www.fourin.jp　E-mail：info@fourin.jp